

平成29年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策名	就学前児童ケアサービスを総合的に推進する			政策No.	22
所管部	子ども家庭支援部	関係部	みなと保健所、教育委員会事務局		

2 展開する施策の評価

	評価分布	
	S	0
	A	3
	B	2
	C	0
	D	0

3 主な施策の取組状況

①	施策名	保育園待機児童解消の推進			評価	B
	成果目標			活動指標		
	待機児童が解消され、保護者が安心して働き、子育てができる環境が整っている			待機児童数		
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況
	45人	0人	30人	64人	164人	未達成
施策の取組状況	<p>・待機児童の解消に向け、区立保育園の新設や改築・改修、私立保育園の誘致等により、保育定員の拡大に取り組んでいます。</p> <p>・平成29年4月の保育定員は7,279名と、平成26年4月の5,963名から、1,316名拡大しましたが、急激な人口増加や年少人口の急増等により、保育需要が高まり、平成29年4月現在、待機児童の解消には至っていません。しかしながら、現在取り組んでいる緊急対策により、平成30年4月までに1,000人の定員拡大を予定しており、待機児童は解消できる予定です。</p>					
②	施策名	保育園における保育の質の向上			評価	A
	成果目標			活動指標		
	保育の質が向上し、乳幼児の心身の健全な発達が促進されている			私立認可保育園、認証保育所の第三者評価受審		
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況
	35園	55園 (私立・認証全園)	13園	21園	23園	未達成
施策の取組状況	<p>・保育の質の確保・向上を図るため、区立保育園及び港区保育室において第三者評価を実施しています。</p> <p>・私立認可保育園や認証保育所を対象に、第三者評価を受けるための費用の一部を助成しています。</p> <p>・私立認可保育園や認証保育所等への巡回指導・指導検査を実施し、経験豊富な保育士による保育内容の指導・助言を行っています。</p>					
③	施策名	多様な都心型保育サービスの充実			評価	A
	成果目標			活動指標		
	多様な保育サービスが提供され、保護者の子育てと就労が両立されている			病児保育利用実績		
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況
	2,600人	3,818人	2,808人	2,990人	3,100人	未達成
施策の取組状況	<p>・病児保育室3か所、病後児保育室1か所を開設しているほか、訪問型病児・病後児保育利用料助成事業を行っています。</p> <p>・平成27年12月から居宅訪問型保育事業を開始し、医療的ケアが必要で集団保育が著しく困難な児童に対し居宅による保育を行っています。さらに平成29年4月からは待機児童を対象に加えました。</p> <p>・平成27年4月、子ども・子育て支援新制度の開始にあわせ、保育園の保育料を見直したほか、第2子以降の保育料を無料としました。</p>					

4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
予算額	22,354,026	14,011,520	16,507,331
流用・補正	△ 70,795	68,376	—
決算額	21,589,238	13,681,410	—
執行率	96.9%	97.2%	—

予算・決算額の推移	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加に伴う待機児童を解消するための取組を推進することにより、予算は年々、増加傾向にあります。 ・平成27年度予算は、保育所整備用地（元麻布二丁目、南青山一丁目）の取得により大きく増加しています。
-----------	---

5 政策を取り巻く社会状況等

社会状況等の変化 ※基本計画策定時からの社会状況等の変化、国や他自治体の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・区の人口は、平成29年2月に54年ぶりに25万人を突破するなど、芝浦港南地区を中心に、急激に増加しています。また、平成27年の合計特殊出生率は1.44で、国の1.45と肩を並べ、23区内でも単独1位となっています。 ・平成20年4月に20,907人だった年少人口（0歳～14歳）は、平成29年4月には、32,811人と、10年前と比較し、1.57倍に増加しています。
---	---

区民の意見等 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度中に待機児童は解消される予定ですが、今後も保育需要が高い状況が続くことが見込まれます。 ・一時預かりなどの在宅子育て家庭向けのサービスの拡充や、保護者の子育て力向上への支援が求められています。 ・この他、医療的ケアを必要とする児童の集団保育を希望する声や、保育士の処遇改善等を求める声があります。
------------------------------------	---

6 一次評価（所管部門による評価）

政策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・区立保育園や港区保育室の開設、居宅訪問型保育事業の開始など、様々な手法により、この3年間で1,316人の定員拡大を図りました。 ・子育てひろばの開設や、一時預かり事業の拡大、乳児家庭全戸訪問事業など、在宅子育て親子に対する支援・相談体制は充実しています。 ・保育料などの見直し、保育料助成、病児・病後児保育の充実など、多様な保育サービスを提供し、保護者の子育てと就労の両立の支援を着実に進めています。
---------	---

今後の方向性 重点的に取り組む施策・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童解消のため、平成30年4月までに保育定員を1,000人拡大する緊急対策を実施します。これにより、平成30年4月には待機児童は解消できる見込みです。 ・多様なニーズに対応するため、医療的ケア児保育や障害児保育を行う（仮称）港区立元麻布保育園を、平成32年に開設予定です。 ・保育士等の賃金改善に対する助成や、私立認可保育所等へのICT化助成等、保育の質の向上や保育人材の確保・定着のための支援を行います。
-------------------------	--

7 二次評価（港区行政評価委員会による評価）

	<input type="checkbox"/> 十分達成しています <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成しています <input type="checkbox"/> 達成が不十分です
政策の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・活動指標「子育てひろばの利用者数」については、指標が目標に達しており、成果目標は達成しています。 ・保育士等の賃金改善助成、私立認可保育園等へのICT化助成などの施策を進めていることは評価できます。

今後の方向性 重点的に取り組む施策・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童を早期に解消するとともに、医療的ケア児保育や障害児保育などの多様な子育ての需要に対応するなど、引き続ききめ細やかな子育てサービスを提供する施策を推進していく必要があります。
-------------------------	---

施策① 保育園待機児童解消の推進

施策担当課	保育課	関係課	子ども家庭課	評価 (S~D)	B				
成果目標	待機児童が解消され、保護者が安心して働き、子育てができる環境が整っている								
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況			
待機児童数	45人	0人	30人	64人	164人	未達成			
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	<p>・区では保育需要の見直しを毎年行い、平成27年3月に策定した港区子ども・子育て支援事業計画を上回る保育定員の拡大を行ってきました。急激な人口増加による保育需要の高まりは、予想を上回るスピードで増え、待機児童数は平成28年度から増加傾向に転じ、平成29年4月の待機児童数は164人ですが、現在行っている待機児童緊急対策により、平成30年4月までに保育定員を1,000人拡大する予定としており、目標は達成できる見込みです。</p>								
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業								
1)	保育施設の充実				子ども家庭課				
	全体計画 目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量	前期(事業計画)			後期		
				27年度	28年度	29年度	計	(30~32年度)	
	区立認可保 育園18園	18園	完成1園 移行1園	計画	完成1園	移行準備1園	—	完成1園 移行1園	—
				実績	完成1園	移行1園 移行準備1園	設置1園 実施1園	設置2園 実施1園 移行1園	—
	私立認可保 育園38園	29園	誘致9園	計画	誘致4園	誘致1園	誘致2園	誘致7園	誘致2園
				実績	誘致6園	誘致3園	誘致3園	誘致12園	—
	認定こども 園1園	—	実施1園	計画	移行準備 1園	実施1園	—	実施1園	—
				実績	移行準備 1園	実施1園	—	実施1園	—
	認証保育所 21園	21園	—	計画	—	—	—	—	—
				実績	—	閉園1園	設置1園 閉園1園	設置1園 閉園2園	—
	緊急暫定保 育施設 13か所	10か所	設置3か所 移行1か所	計画	設置3か所 移行1か所	—	—	設置3か所 移行1か所	—
				実績	設置3か所 移行1か所	—	設置1か所 移行1か所	設置4か所 移行2か所	—
	保育定員 7,302人	保育定員 5,963人	保育定員増 1,339人	計画	保育定員増 675人	保育定員増 416人	保育定員増 83人	保育定員増 1,174人	保育定員増 165人
				実績	保育定員増 675人	保育定員増 368人	保育定員増 273人	保育定員増 1,316人	—
	補足説明	<p>・緊急暫定保育施設は平成28年4月から「港区保育室」に名称を改めました。 ・子ども・子育て支援新制度の実施に伴い、民間事業者が運営する「小規模保育施設」の誘致を平成27度から行っています。</p>							

認定こども園の実施									子ども家庭課
2)	全体計画 目 標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期（事業計画）				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30～32年度)
	1 園	—	1 園	計画	移行準備 1 園	実施 1 園	—	実施 1 園	—
				実績	移行準備 1 園	実施 1 園	—	実施 1 園	—
	遅延理由	—							
みなと保育サポート事業の充実									子ども家庭課
3)	全体計画 目 標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期（事業計画）				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30～32年度)
	5 か所	3 か所	2 か所	計画	—	—	実施 2 か所	実施 2 か所	—
				実績	—	—	実施 1 か所	実施 1 か所	—
	遅延理由	・複合施設全体の開設時期をそろえたため。							
育児休業明け入所予約制度の充実									保育課
4)	達成状況	区立認可保育園（こども園含む）20園、港区保育室 7 園の計27園で実施しています。							
	課題	引き続き、区立認可保育園（こども園含む）20園、港区保育室 7 園の計27園で実施していきます。							
大規模開発における保育所付置の要請									子ども家庭課
5)	達成状況	開発事業者等に対し、保育所などの子育て関連施設の設置を要請しました。							
	課題	引き続き、開発事業者等に対し、保育所などの子育て関連施設の設置を要請します。							

施策② 保育園における保育の質の向上

施策担当課	保育課	関係課	—				評価 (S~D)	A
成果目標	保育の質が向上し、乳幼児の心身の健全な発達が進められている							
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況		
私立認可保育園、認証保育所の第三者評価受審	35園	55園 (私立、認証全園)	13園	21園	23園	未達成		
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	区立認可保育園及び港区保育室で第三者評価を実施します。また、私立認可保育園及び認証保育所に対し、受審費用の一部を助成しています。							
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業							
1)	乳幼児期にふさわしい心身の発達を促す保育の推進 保育課							
	達成状況	乳幼児期にふさわしい養護と教育の一体的な保育の提供を推進するため、部門研修等の研修を通じて職員のスキルアップの向上を図っています。						
	課題	平成30年4月1日から適用される新保育所保育指針の内容の周知と理解の促進を行うとともに、引き続き部門研修等の内容の充実を図ります。						
2)	障害児保育の充実 保育課							
	達成状況	認可保育園を対象に、医師・臨床心理士や言語聴覚士等の専門家による巡回指導を実施し、職員に対して障害児への理解、適切な関わり方について指導しています。						
	課題	認可保育園の増加に伴い、障害児及び個別的指導が必要な子どもは増加傾向にあります。また、職員のスキルにもばらつきがあるため、引き続き研修等で質の向上を図ります。						
3)	保育施設の確認制度の着実な運用 保育課							
	達成状況	私立認可保育園1施設、小規模保育事業4施設、事業所内保育事業1施設、居宅訪問型保育事業1事業者について確認しました。また、指導検査及び訪問指導を私立認可保育園32施設、小規模保育事業2施設に対して実施しました。						
	課題	新規開設施設等の確認を行うとともに、既存施設の運営基準の遵守状況を確認するため、指導検査及び訪問指導を行います。						
4)	第三者評価等の積極的な活用 保育課							
	達成状況	区立認可保育園及び港区保育室で第三者評価を計画どおり実施しています。同じように、私立認可保育園及び認証保育所に対し、受審費用を事業者からの実績報告により一部助成しています。						
	課題	引き続き、区立認可保育園及び港区保育室にて第三者評価を実施します。また、私立認可保育園及び認証保育所に対し、受審費用の一部を助成します。						
5)	認可外保育施設の指導監督の強化及び保育水準の向上 保育課							
	達成状況	東京都の認可外保育施設立入調査が行われた際、13施設（うち認証保育所6施設）について立会いました。						
	課題	引き続き、東京都の指導監督の際に、立会いを行います。今後も都と連携しながら、保育水準の向上を図っていきます。						
6)	保育園と幼稚園、小学校との連携 保育課							
	達成状況	保育園・幼稚園・小学校の合同研修会を実施し、「小学校入学前教育カリキュラム」「5歳児指導ポイント集」を活用して小学校教育への接続について理解を深めました。また、具体的な連携についての基準を定め、連絡コーディネーターを位置づけました。						
	課題	保幼小合同研修会（6月開催）の中で、地区ごとに打ち合わせの時間を設け、保幼小の連携を深めます。						

施策③ 多様な都心型保育サービスの充実

施策担当課	保育課	関係課	学務課			評価 (S~D)	A
成果目標	多様な保育サービスが提供され、保護者の子育てと就労が両立されている						
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
病児保育利用実績	2,600人	3,818人	2,808人	2,990人	3,100人	未達成	
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	病児・病後児保育室4施設の年間延べ利用人数を示しています。病後児保育室の利用率が病児保育室に比べて低いと、利用率向上に向けて改善を図っていきます。また、訪問型病児・病後児保育の認知度を上げ、利用率の向上を図っていきます。						
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業						
	教育・保育施設保育料等の見直し					保育課・学務課	
1)	達成状況	子育てしやすい環境を整備するため、兄や姉が、小学校3年生までに在学、または保育園、幼稚園、認定こども園などに在籍している場合の、第2子以降の区立幼稚園保育料を無料にしています。また、兄や姉が、保育園、幼稚園、認定こども園などに在籍している場合の第2子以降の認可保育園や港区保育室等の保育料を無料にしています。さらに国の幼児教育の段階的無償化に向けた取組に合わせ、保育料負担の軽減を行っています。					
	課題	区の保育料は国の定めた利用者負担額の範囲内で設定していますが、国は利用者負担額の段階的無償化に向けて、毎年改正を行っています。区は、応能負担の原則を踏まえ、国利用者負担額との乖離を意識しながら、より公平な保育料体系を整える必要があります。平成29年度は、平成27年4月の子ども・子育て支援新制度の開始と同時に改正された保育料の見直しの年度です。集中する高階層保育料決定者の細分化、保育料の引き上げ等適正な保育料の設定を検討する必要があります。国階層との比較、景気動向や区内の保護者の負担等、多角的な視点で見直します。					
	認証保育所入所者への保育料助成の見直し					保育課	
2)	達成状況	認可保育園の入園の申込みをしながら認証保育所に在園している児童の保護者を対象に、認可保育園保育料との差額を助成し、負担の軽減をしています。また、兄や姉が、保育園、幼稚園、認定こども園などに在園している場合の第2子以降の認証保育所の保育料を無料にしています。さらに国の幼児教育の段階的無償化に向けた取組に合わせ保育料負担の軽減を行っています。					
	課題	引き続き、認可保育園の入園申込みをしながら認証保育所に在園している児童の保護者を対象に、認可保育園保育料との差額を助成します。また、兄や姉が保育園、幼稚園、認定こども園などに在園している場合の第2子以降の認証保育所の保育料を無料にします。さらに国の幼児教育の段階的無償化に向けた取組に合わせ、保育料負担の軽減を行います。					
	病児・病後児保育の充実					保育課	
3)	達成状況	病児保育室3か所、病後児保育室1か所を開設しています。認可保育園・認証保育所などに在園の乳幼児が利用対象です。					
	課題	病児保育室は、芝浦港南地区に2園、麻布地区に1園と地域的に偏りがあり、保育園の在籍児童も増加している状況にあります。このため、予約がとりづらい状況にあり、利用者の要望に応えきれていません。病児保育室の新規開設を検討するとともに、利用率の低い病後児保育室については運営面の改善などを進めていきます。また、平成28年度から開始した訪問型病児病後児保育利用料助成事業は、制度のより一層の周知と手続き方法の簡略化に向け改善を図っていきます。					

施策④ 子育て支援サービスの充実

施策担当課	子ども家庭課	関係課	健康推進課、保育課、子ども家庭支援センター				評価 (S~D)	A
成果目標	在宅子育て親子に対する支援・相談体制が充実し、安心して子育てできている							
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況		
子育てひろば利用者数	163,579人	216,616人	311,973人	309,800人	310,000人	達成		
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	-							
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業							
1)	子育てひろばの拡大 子ども家庭課							
	全体計画目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期 (事業計画)			後期
					27年度	28年度	29年度	計 (30~32年度)
	17か所	14か所	3か所	計画	実施1か所	-	実施2か所	実施3か所
					実績	実施1か所	-	実施1か所
遅延理由	複合施設全体の開設時期をそろえたため。							
2)	一時預かり事業の拡大 子ども家庭課							
	全体計画目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期 (事業計画)			後期
					27年度	28年度	29年度	計 (30~32年度)
	14か所	12か所	実施2か所 移行1か所	計画	移行1か所	-	実施2か所	実施2か所 移行1か所
					実績	移行1か所	-	実施1か所 移行1か所
遅延理由	複合施設全体の開設時期をそろえたため。							
3)	生活スタイルの多様化に対応した子育て支援策の充実 子ども家庭支援センター							
	達成状況	子育てひろば併設の乳幼児一時預かりを7施設で実施しています。また、みなと子育て応援プラザPokkeでは、ショートステイ及びトワイライトステイを実施しています。麻布乳児院にはショートステイ事業を、あい・ぽーとには港区派遣型一時保育を業務委託しています。						
	課題	事業を周知し、利用者の拡大に努める一方、派遣型一時保育や乳幼児一時預かりに従事する子育て支援員を養成し、従事者を増やしていく必要があります。						
4)	乳児家庭全戸訪問事業の実施 健康推進課							
	達成状況	平成28年度の新生児等訪問指導事業（乳児家庭全戸訪問事業）実施数（助産師会委託実施・延数）は2,534件でした。						
	課題	出生数は増えていますが、出生通知書未提出者や連絡の取れない人が増加し、新生児等訪問指導事業（乳児家庭全戸訪問事業）の実施数は横ばいです。						
5)	児童館、保健所等における乳幼児と保護者に向けた支援事業の推進 健康推進課							
	達成状況	平成28年度のハロママサロン・のんびりサロンの参加者は延べ1,048組2,125人、うさちゃんくらぶ・高輪うさちゃんくらぶの参加者は延べ1,364組2,721人でした。						
	課題	支援が必要な方には、各種事業で継続なフォローが行えるよう、フォロー体制の強化が必要です。						

		保育園における在宅子育て家庭向け事業の推進	保育課
6)	達成状況	「みなとっこ」登録者には誕生月に誕生カードを郵送しました。また「保育園であそぼう」では試食会、園庭開放など各園で内容を工夫し実施しました。「保育園であそぼう」では育児相談の実施、子育て情報の提供を図りました。	
	課題	引き続き「保育園であそぼう」等育児相談を行い育児不安を解消します。また「みなとっこ」事業の見直しを行い「みなとっこ」の充実を図ります。	
		家庭的保育事業等の実施	子ども家庭課
7)	達成状況	小規模保育事業について、平成28年7月に芝浦港南地区で1か所、平成28年8月に赤坂地区1か所、平成29年4月1日に麻布地区と高輪地区でそれぞれ1か所ずつ実施しています。	
	課題	引き続き、小規模保育事業の実施を希望する事業者に対し、協議を行います。	
		事業所内保育事業の実施	子ども家庭課
8)	達成状況	事業所内保育事業の実施を希望する事業者と協議を行いました。	
	課題	引き続き、事業所内保育事業の実施を希望する事業者に対し、協議を行います。	

施策⑤ 就学前教育の充実

施策担当課	教育政策担当	関係課	庶務課、学務課、指導室				評価 (S~D)	B	
成果目標	子どもを取り巻く環境の急速な変化と多様な教育ニーズに対応した幼児教育が行われている								
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況			
幼稚園修了児の保護者の満足度 (魅力ある区立学校づくりのためのアンケート結果)	92%	95%	—	—	95%	達成			
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	港区学校教育推進計画・港区幼児教育振興アクションプログラムの改定に向けたアンケートにおいて、「お子さんが卒園した幼稚園に満足していますか」という質問に、「かなり満足している」「まあまあ満足している」と回答した人の割合を活動指標としている。								
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業								
1)	幼稚園の受け入れ体制の充実						教育政策担当		
	全体計画 目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量	前期(事業計画)				後期	
				27年度	28年度	29年度	計	(30~32年度)	
	園児定員増 3,693人	3,132人	園児定員増 561人	計画	194人	14人	85人	293人	268人
				実績	194人	20人	27人	241人	—
遅延理由	平成29年度に予定していた幼稚園の分園について、設置可能な用地を確保できなかったため								
2)	幼稚園における特別支援教育の充実						学務課・指導室		
	達成状況	特別支援を要する幼児を対象に、適正な保育の実施のため、引き続き港区立幼稚園特別支援協議会を設置し、介助員配置等を検討・実施しています。							
	課題	支援を要する幼児が増加傾向にあるため、適正な支援・指導のあり方について、さらに精査する必要があります。							
3)	地域での子育て支援事業の充実						学務課		
	達成状況	未就園児の会は、各幼稚園で実施計画を立て、園庭開放も毎月継続的に実施しています。子育てサポート保育は平成29年6月から新たに1園実施園を拡大し、9園で運営します。							
	課題	今後も継続して「未就園児の会」運営に補助員を導入し、内容の充実を図ります。							
4)	私立幼稚園への支援						庶務課		
	達成状況	各園に対するカウンセリング事業、特別支援アドバイザーの派遣を実施。また、私立幼稚園に対する補助金及び保護者の経済的負担を軽減するための補助金を実施しています。							
	課題	私立幼稚園に対する各種支援が、区内園児や発達障害等の園児の受け入れ態勢の充実につながっているか慎重に検討するひつようがあります。							
5)	預かり保育の拡大						教育政策担当		
	達成状況	3年間で、預かり保育実施園を8園から15園に増やしています。							
	課題	区立幼稚園で預かり保育をまだ実施していない園が3園あるため、ニーズや施設の状況等を総合的に鑑み、実施園を増やすかどうか検討します。							